



～山川異域 風月同天 山口同愛！～

水無月を迎え、ふるさと山口では田植えの季節。田圃には若々しい苗が、所狭しと育っていることでしょう。季節は当たり前のように、桜から蛍、そして七夕へと移ろいゆくものの、今年は突然の「コロナ騒動」で、私たちを取り巻く世の中の様子は日常とはかけ離れた世界になってしまいました。

七夕会会員の皆様及びご家族、ご友人におかれましては、健やかにお過ごしでしょうか。

私たちの生活様式は、今回のウイルス災厄を契機に大きく変わろうとしています。学校生活、通勤、物流をはじめ、働き方、経済、ライフスタイルに至るまで、好むと好まざるを問わず、変革を迫られていくことになるでしょう。しかし、そのような時でも、変えてはいけないものがあります。変化を前向きに受け入れつつも、守らなければならないものがあります。ふるさと山の緑、空の青さ、水の清らかさ、温かな人情は、山口に住む者にも、山口を離れて暮らす者にも、心の拠り所です。

30周年に向けて歩みだした山口七夕会。その原点は言うまでもなく、「ふるさと山口市への熱い思い」にあります。身は離れていても、見える景色は異なっている、空はつながっており、山口を愛する心はひとつ。どのような時代にあっても、どのような環境のもとにあっても、山口七夕会が山口市のために、会員の皆様のために存在し続けることを祈って止みません。

令和2年(2020年)6月

山口七夕会
会長

< 「令和2年度山口七夕会会員総会」開催について (ご案内) >

★日時：令和2年8月1日(土)10時30分より

場所：「インテリジェントロビー・ルコ」

東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル 1F (JR/地下鉄 飯田橋)

時節柄、コロナウイルス感染防止に配慮した総会といたしますので、ご協力を宜しくお願いいたします。なお、8月1日の開催は、令和2年6月9日における評議員会の判断です。その後のコロナウイルス感染状況等に伴う環境変化によっては、予定を変更することもあり得ますのでお含みおきください。(変更ある場合はHPの他、出席のご連絡を頂いた会員様にご連絡いたします) ご出欠のご連絡は、この七夕会通信に同封した「総会出欠連絡票」にてお願いいたします。

< 目 次 >

頁1	八木会長挨拶 / 令和2年度山口七夕会会員総会の開催について
頁2	目次 / 同封物リスト
頁3	【巻頭言】(会員寄稿) 山口への想い (松本和江さん)
頁4	山口七夕ふるさと大使委嘱について / 【お知らせ】 法人会員募集
頁5	【追悼】 原野和夫顧問(初代会長)、佐々部清監督(七夕会会員)
頁6	【募集】 七夕会創立 20 周年記念ピンバッジ&缶バッジ販売
頁7	【お知らせ】 七夕会「通信」・「会報」の新コンテンツと原稿募集 (山口方言で一言)
頁8	【連載コラム】 山口市内の面白名所発掘 1 「山口軽便鉄道」(古谷真之助さん)
頁9	古谷さん紹介(参考情報:山口市内の軽便鉄道ルート図)
頁10	【報告】 ふるさと山口本部『冬の徳佐を楽しむ会』(関和貴さん)
頁11	【報告】 ふるさと山口本部 第 4 回 酣祭中止にあたって (嘉瀬修さん)
頁12	【役員寄稿】 英国大使館別荘記念公園(日光)の紹介 (奥原保さん)
頁13	【役員寄稿】 コロナと自由とルール、知性・節度と寛恕の精神 (渡邊史信さん)
頁14	【お知らせ】 新会員の皆さん・法人会員の皆さん / 【標準語解説】 山口方言で一言
頁15	【市役所だより】 中原中也記念館オンラインショップとグッズセット「おうちで湯田気分」
頁16	【お知らせ】 イベント情報 / 【編集後記】 インターネット活用 / 【事務局だより】

< 七夕会通信 6 月号・同封物リスト >

- 市報「やまぐち」(4月1日号、5月1日号、6月1日号)
- 8月1日(土)令和2年度山口七夕会会員総会出欠連絡票兼ふるさと大使受諾連絡票
- 令和2年度「山口七夕ふるさと大使」委嘱案内状(対象者のみに同封)
- 七夕会創立 20 周年記念ピンバッジ&缶バッジ購入者募集
- 法人会員からのご案内:株式会社技工団さん
- 令和2年度会費納入のお願いと会費納入状況のお知らせ
- 情報誌「彩都山口」
- ふるさと納税のお知らせ

☆七夕会通信に掲載されている写真はモノクロとなっておりますが、後日七夕会ホームページに掲載される七夕会通信には、同じ写真がカラーで掲載されます。是非そちらもご覧ください。
☆内容に関するご意見、ご質問等は、編集者である七夕会副会長・本部長の相山まで(※)お願いします。

(※)メールアドレス:tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp fax:03-6800-3211

「山口への想い」

松本 和江（会員No.382）

私が山口の七夕提灯祭りを初めて見たのは小学校低学年の頃だったと思います。堅小路の親戚から叔母や従妹たちと中市商店街、駅前通りの赤い提灯のトンネルを見上げ大勢の人の波に押され夜空に浮かぶ無数の赤い提灯、なんて幻想的で綺麗なんだろうと眺めた光景が今も脳裏に焼き付いています。

それから数年後、山口中央高校へ、4月8日入学、満開の桜の八丁峠を越えてバス通学。朝6時30分佐々並発、1時間で山口駅着、下清水まで歩いて8時学校到着です。海拔約400メートルの八丁峠を超えて、山口市までのろのろと下り、帰りは満員の学生を乗せたバスはうなり声をあげて八丁峠を登りつめます。

八丁峠を越えて毎日通学していた話を故山縣幹事長に四谷の「笹陣」でお話した時「松本さんそんな田舎から通学していたの?」・・・とみんなで大笑い・・・

維新の志士たちが駆け抜けた「萩往還」も、今は整備されて便利になっているようです。山縣幹事長、奥様のジョビィさん、七夕会メンバーの方たちと「笹陣」で何度も美味しい日本酒を酌み交わしながら、山口弁でこんな話に花を咲かせたのも楽しい思い出となりました。昨秋国立癌センターでお目にかかったのが最後となりましたが優しいお心遣いの山縣さん、心よりご冥福をお祈りいたします。

丁度還暦を迎えた時、私は仕事も一区切り、今後は自分の趣味を始めたいと思って、松戸市報の「智恵子抄合唱団募集」に応募しました。練習は新宿西口の中学校、何十人もの方が集まっておられ、いつもそばから聞こえる美しいソプラノに聞きほれていました。何回かの練習後どちらからともなく「一度お食事でもご一緒しませんか?」と私の勤めていた新宿野村ビル50階のレストランに。話し始めた途端に同じ山口出身とわかりなんとその方は山大から教育実習生として山口中央高校に来ておられたのです。

極めつけは映画のロケで「岡田茉莉子、佐田啓二」が校庭でソフトボールをしたのを偶然一緒に見ていたことでした。その当時の写真が掲載のものです。



後列右 長広不二子先生 前列右 筆者

思い出話は尽きることはありませんでしたが、その後防長倶楽部のきらら会にも入会頂き合唱やオペラの会でも毎月ごいっしょです。山口中央高校以来40数年振り偶然の再会に不思議なご縁を感じました。

佐々並は萩市に合併しましたが、私のふるさは沢山の思い出多い山口市です。

昨年「山口七夕ふるさと大使」を拝命いたしましたのを機に山口市と東京をつなぐ架け橋となりふるさと発展の為に微力ながら尽くしていきたいと思っています。

令和2年2月4日

☆松本さんは山口県阿武郡佐々並村ご出身であり、現在は松戸市在住です。

< 令和2年度・山口七夕ふるさと大使の委嘱について >

令和2年度に山口七夕ふるさと大使の受諾資格をお持ちの方には、別途「案内状」を同封しております。該当する皆さんにおかれましては、「総会出欠連絡票」の該当欄をご参照の上、ご連絡をお願いいたします。

なお、候補者の選考基準については、以下をご参照ください。

※大使の委嘱は総会にご出席いただくことが前提となります。

（「山口七夕ふるさと大使」設置要綱第3条第2項に定める候補者の選考基準）

第2条 山口七夕ふるさと大使（以下「大使」という。）の候補者の選考は、山口七夕会の会員のうち、次の各号のいずれかに該当するものについて行うものとする。

(1) 山口市作成の毎年3月末時点の会員名簿に掲載されている、10年以上の会員経歴を持つ者であって、原則として山口市外に居住する者

(2) スポーツ、教育、文化、芸術、芸能、福祉、経済界、国際社会等の分野において国内外で広く活動している者

(3) 山口七夕会の役員（会長、副会長、評議員、本部長、幹事長、幹事、監査役等）の職にある者又はあった者

(4) 広く山口市のシティセールスに資する活動をしている者

(5) 山口市功労者顕彰受賞者

(6) その他会長が特に認める者

= 法人会員（年会費1万円）を募集しています！ =

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています！～

○山口七夕会では、各事業年度内に原則3回、会員のみなさまに「山口七夕会会報」、「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は391名ですが、法人会員のみなさまは、各事業年度内に1度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。

（単純に計算しますと、切手84円×389名＝32,676円のコストが年会費1万円の法人会費に含まれることになります。）

○今後の会員への「山口七夕会通信」などの発送は、令和2年9月及び令和3年1月に予定していますので、既に法人会員に登録されている方はご継続を宜しく願います。

○また、新規に法人会員を募集しますので、会員のみなさまのご関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局までお願いします

山口市七夕会事務局（山口市企画経営課内） 担当：伊藤 TEL:083-934-2746

追悼



2019年11月9日、山口七夕会初代会長の原野和夫顧問が逝去されました。91歳でした。

2020年2月28日に東京都千代田区の帝国ホテルで開催された時事通信社主催のお別れの会には、山口県への疎開経験をお持ちのオリックス株式会社・宮内シニア・チェアマンをはじめ、多くの方が参列され、原野顧問とのお別れの時間を過ごされました。

山口七夕会からも八木会長、渡邊副会長を始め、石田顧問、山根本部幹事長、大田評議員、梶山副会長が参列し、原野顧問を偲びました。

30周年に向けて歩み続ける山口七夕会。原野顧問が揮毫された「山口七夕会」の文字とともに、これからの歩みを見守ってくださるようお願いしております。

<ご経歴>

原野顧問は1928年(昭和3年)の山口市生まれ。1950年東京大学農学部卒業。時事通信社代表取締役社長ご退任後の1991年にパシフィック野球連盟(パ・リーグ)第8代目会長に就任し、2000年にご退任。1986年にはフランスのレジオン・ドヌール勲章を受章されています。



追悼

山口県下関市出身の映画監督で七夕会会員の佐々部清さんにおかれましては、2020年3月31日、次回作の制作準備のために宿泊中の、地元下関市のホテルで逝去されました。62歳でした。

大手プロダクションや配給会社から協力を得られず、いわば自主制作映画として、監督が命懸けでこの世に送りだされた「八重子のハミング」。2016年秋の山口県における先行上映に際しては、山口七夕会会員の皆さんも、一人でも多くの県民に



見ていただこうと奮闘されました。2017年5月6日からの、東京を皮切りとした全国ロードショーに際しては、ふるさと山口本部の瀬川本部長からバトンを受けた七夕会本部メンバーが、心を揺さぶるこの映画の魅力を伝えようと奔走しました。映画のある人生「一期一映」、「映画を見る人生は、見ない人生より少しだけ豊かになる。」、「怒りには限界があるが、優しさには限界はない。」ことを教えてくださった佐々部監督のご冥福を、心よりお祈りいたします。

<ご経歴>

佐々部監督は1958年生まれ。下関市の出身で山口県立豊浦高校、明治大学文学部演劇科、横浜放送映画専門学院(現・日本映画学校)を卒業。2002年に「陽はまた昇る」(日刊スポーツ映画大賞 石原裕次郎賞受賞、日本アカデミー賞優秀作品賞受賞)で監督デビュー。2004年には「半落ち」で日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞。「チルソクの夏」、「四日間の奇蹟」、「カーテンコール」のいわゆる下関三部作を始め、「出口のない海」、「八重子のハミング」など、山口県内でロケが行われた作品がたくさんあります。

< 七夕会創立 20 周年記念 ピンバッジ&缶バッジを販売します >

「(梶山) 記念バッジのことはお任せください。」「(故山縣正彦幹事長) お手並み拝見！」

2019 年 12 月 5 日、亡くなる二週間ほど前の、山縣さんと梶山とのメールでのやり取りです。2009 年から 2019 年までの 10 年間を幹事長として七夕会の運営を支え、七夕会の創立 20 周年記念事業として「会員章制作委員会」を立ち上げられた山縣さん。1 回目の委員会の開催は 9 月 17 日、国立がん研究センター中央病院のご本人の病床においてでした。

結局、委員会の開催はこの 1 回限りとなってしまいましたが、山縣さんの会員章にかける熱意は、委員会のメンバー及び梶山に引き継がれ、本部役員による論議を経て、漸くここにピンバッジと缶バッジの購入者募集を行うまでに至りました。

山縣さんのこだわりは、「七夕会旗のデザインを生かす」とことと「SINCE1999 を記載する」こと。当初のデザインからは軌道修正をしましたが、最終的には、山根和也本部幹事長による七夕会旗のデザインから山口七夕会の象徴である「ちょうちん」を抜き出し、七夕会会員で会員章制作委員でもある伊東正文さんのご協力により、今回のデザインに落ち着きました。

山縣さんの思いの詰まった七夕会創立 20 周年記念ピンバッジ&缶バッジ。このバッジを、七夕会のいわば「会員章」としていただき、広く七夕会のイベント、活動の場でご着用いただければと思います。

ピンバッジ&缶バッジの第一号は、謹んで山縣さんのご霊前にお供えしたいと思います。

< ピンバッジ&缶バッジ販売要領 > (別紙の購入申込書をご利用ください)

※予め購入者を募集し、応募のあった数量を業者さんに発注します。

1. 購入単位:1 セット(ピンバッジ 1 個&缶バッジ 1 個)を最小販売単位といたします。別紙の購入申込書にて、希望セット数をお申し込みください。
2. 価格:1 セット=1,000 円
3. バッジの受渡方法
 - (1) 8 月~10 月に開催される七夕会イベントに参加される方には、会場でバッジをお渡しします。
 - (2) 上記(1)以外の方には、申込書記載の送付場所へ郵送いたします。
4. その他
 - (1) バッジ代金の振込みに際し、振込手数料は代金から差し引いてお振込みください。
 - (2) お預かりした購入代金総額より、バッジ作成代金、郵送料、振込手数料等を差し引き、残金が発生する場合には七夕会予算に充当(寄附)いたしますので、あらかじめご了承ください。
 - (3) バッジに関する収支報告は、後日七夕会「通信」の誌面にて行います。



山縣さんのオリジナルデザイン



伊東さんデザインの缶バッジ



同・ピンバッジ

< 七夕会「通信」・七夕会「会報」の新企画のご案内 >

1. 新企画 その1

- (1) 連載コラム「山口市内の面白名所発掘」 (次ページに掲載しています)
会員の古谷真之介さんに4年間にわたり、計12回のコラムをご担当いただきます。
なお、コラムは七夕会ホームページにも掲載していきます。
- (2) 山口方言で一言(山口方言発掘)
皆さんから募集した、ちょっと難解だったり、どこか懐かしい山口方言(※)を掲載します。
(※)特に山口市固有の方言があれば注釈をつけてください。
第一回目の今回は、本部役員2名の投稿を掲載します。
皆さんからの投稿をお待ちしています。

① 「遍照金剛ゆーちゃーいけん！」

② 「しろしいけえ、そねえにつばえんさんな！」

(標準語訳、解説は14ページに記載しています。)

2. 新企画 その2

令和元年から新たに委嘱を始めた「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの自己PR記事を掲載します。我こそはという大使の方は、400字以内でご応募ください。

3. 新企画 その3

次のテーマと要領で、皆さんからの投稿を募集します。お待ちしております。

★募集するテーマ

- (1) 山口市何でもランキング
山口市の順位が上位である事例・物品に限らず、山口市が始まりの物品・慣習でも可です。
- (2) 山口県外の山口「市」(「県」でも可です)ゆかりの地や名跡、建物紹介
※本6月号には、奥原副会長に寄稿していただいた記事を掲載しています。
- (3) 母校の今(山口市内の幼稚園・小中高・大学・短大・専門学校等の情報)
- (4) 会員活動紹介(スポーツ選手後援会などの営利活動以外の活動紹介)
- (5) 自由テーマ
※本6月号には、渡邊副会長に寄稿していただいた記事を掲載しています。

★字数

多くの方々の原稿を掲載するため、1,400字程度(写真がある場合はそのスペースを含みます)。

★投稿締切

「会報」9月号の掲載を希望される場合は7月末まで、「通信」1月号の場合は11月末まで、「通信」6月号の場合は4月末までに事務局必着とさせていただきます。

★投稿提出先

事務局の相山副会長・本部長(メールアドレス:tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp)へ、電子データ(Word、テキスト形式など)でお願いします。

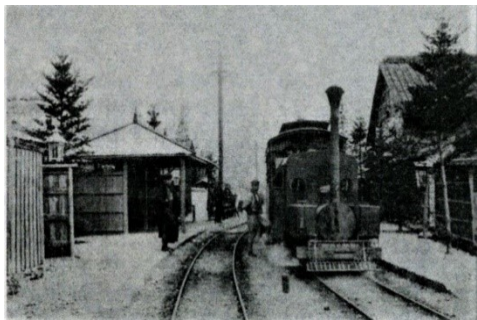
(事務局より)

七夕会「通信」は白黒印刷、七夕会「会報」はカラー印刷です。ご承知おきください。

【連載コラム】 山口市内の面白名所発掘 1 「山口軽便鉄道」

古谷 眞之助（会員No.607）

今回より、山口をこよなく愛し、山口通を自認されている皆さんでも、もしかしたらご存じないかも知れないと思われることを気ままに書き綴って行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



【湯田駅・出典「軽便鉄道時代」岡本憲之】

まずは写真を見て下さい。「湯田駅」に停車中の蒸気機関車です。湯田駅は JR 山口線の湯田温泉駅とは全く別のもので、ホテル松政付近にあったと考えられています。今から 1 世紀以上も前に、現在の JR 山口線とは全く別のルートで小型鉄道が小郡ー山口間を走っていたのです。大日本軌道株式会社山口支部が運行するこの「軽便鉄道」が、まず小郡の新町ー湯田温泉間に開通したのが明治 41 年 11 月 15 日のことでした。この時すでに山陽本線は下関まで開通していましたが、実は山陽本線はもともと山口町経由の計画だったのです。そうでなくなったのは、「汽車が通過すると客足が留まらぬようになって町が寂れる」という理由で山口の旅館業者が猛烈な反対運動を展開したからなのです。



【湯田-小郡新町開通記念列車・喫茶店「むくの木」経営 小椋道門氏提供】

その中心人物は銭湯小路の旅館業・中村竹兵衛らで、運動は成功します。しかし、山口町を経由せずして山陽本線が伸びてしまうと、逆に県庁移転問題が起こり、これに下関市と防府市が名乗りを上げました。危機感を覚えた山口町の有力者たちは、小郡ー山口間を鉄道で結ぶことを画策します。そしてその中心人物は、何と、まともや中村竹兵衛だったのです。もちろん、その当時 JR 山口線は未開通でしたから、線路は独自に引かれました。ルートは、湯田までは旧石州街道とほぼ重

なっています。当初は独自資本の山口軌道株式会社で進める予定だったのですが、資金的に不十分だったため大日本軌道株式会社山口支部という形に変更し、かつ狭軌道の軽便鉄道を選択して、その運行ノウハウや小型蒸気機関車、客車の導入を計りました。やがて鉄道は湯田から県道 204 号線(旧国道 9 号線)に沿って中国電力山口営業所付近の亀山駅まで延長され、明治 43 年 7 月 20 日には山口御茶屋のあったクイエィティブスペース赤レンガのすぐ南側に山口駅が設けられて、ここに山口軽便鉄道の完成を見たのです。全長 12.9km、駅数は 10 駅で、所要時間は片道ちょうど 1 時間でした。



【山口駅プラットホーム・喫茶店「むくの木」経営 小椋道門氏提供】

料金は小郡ー山口間 19 銭。低速だったのは機関車の能力の問題だけでなく、内務省の軽便鉄道運行許可書の第 12 条に「進行ノ速度ハ一時間八哩ヲ超過セシムルコトヲ得ズ」との制限があったためでした。八哩とは 8 マイルで、時速約 15km となります。しかし、驚くべきはその運行本数です。運行は、4:05 小郡発を第一便として、最終山口着が 23:30 の一日の 20 往復でした。使用された蒸気機関車は「3.5t B 型サドルタンク式 キ-21」蒸気機関車と推定できます。また資料がないので写真から判断すれば、客車は長さ 5、6m 程度、乗客はせいぜい 20 名強だったと思われます。つまり低速とキャパシティの低さを運行本数でカバーしていたことが見て取れます。輸送実績はざっと年間 30 万人強でした。

しかし、大正 2 年 2 月 20 日には、いよいよ鉄道院(後の国鉄)が小郡ー山口間を開通させます。ルートは軽便鉄道線とは異なり、現在の JR 山口線のルートそのものですが、上郷と大歳で軽便鉄道と交差していました。そのため、軽便鉄道は付近の住民に惜しまれながらも廃業へと追い込まれます。大量輸送の観点からは、それも無理からぬことでした。形式上では休業としていた山口軽便鉄道は、同年 7 月には県庁宛てに廃業届を提出し、補償金として 79,874 円を受取って、開業からわずか 4 年 2 か月という短命で幕を閉じたのでした。

【古谷眞之助会員のプロフィール】

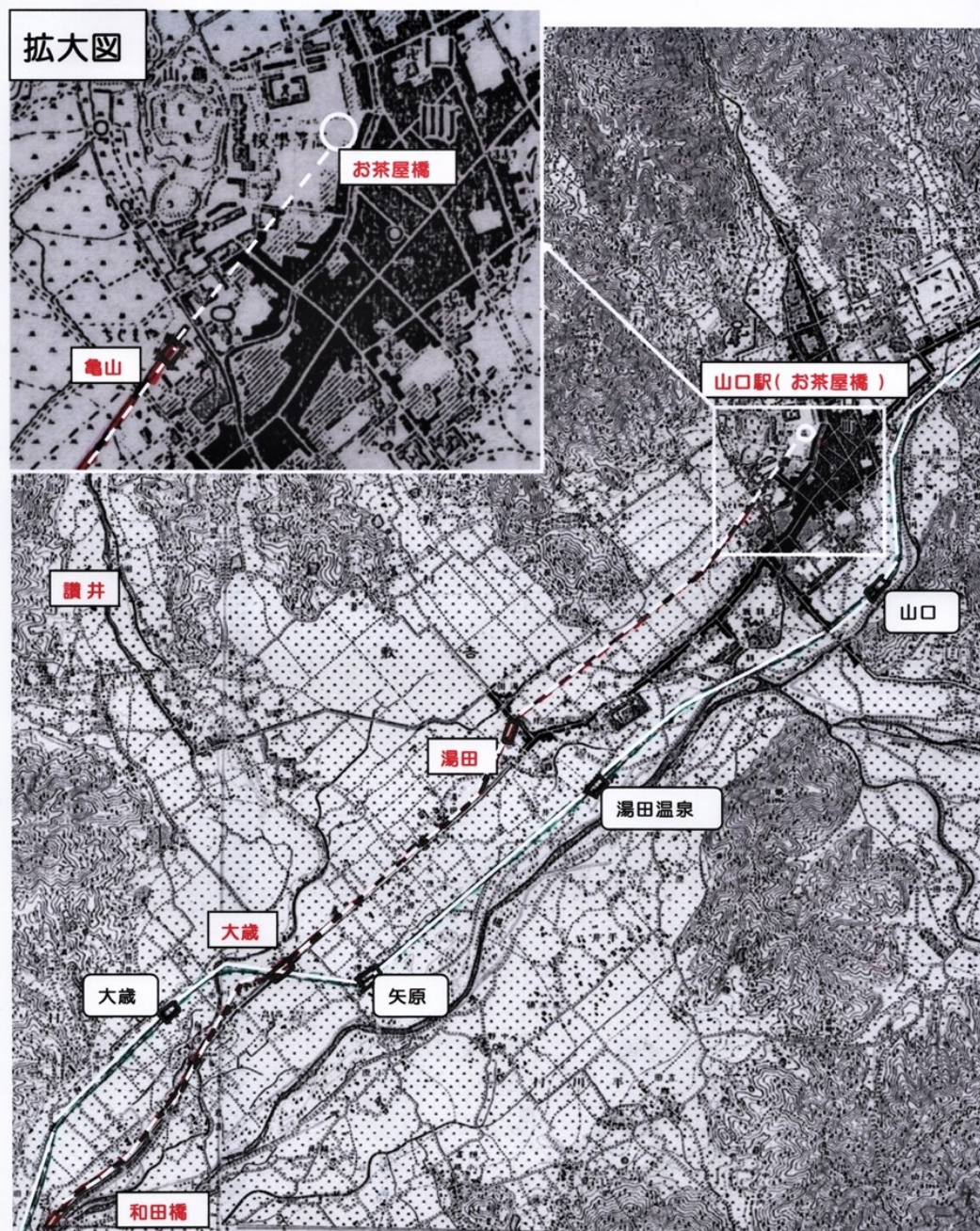
昭和 28 年生。山口大学経済学部卒、三井銀行、ヒロテック勤務後、57 歳で完全リタイア。山口七夕会会員、萩往還ガイド、趣味・自家用操縦士（グライダー）、山登り、イラスト、スケッチ、野菜作りなど。著書 8 冊



【参考情報】

大日本軌道会社山口支社の路線図

（山口・御茶屋駅～和田橋停留所）



【大日本帝国陸地測量部 明治 32 年測量 明治 42 年鉄道補描 明治 43 年 12 月 15 日 発行】

点線 大日本軌道山口支社軽便鉄道線 拡大図付近のルートは推定 実線 JR 山口線

『冬の徳佐を楽しむ会』のご報告

ふるさと山口本部 楽農部会長 関 和貴(会員No.183)

このご報告を書いている現在、中国発の悪性ウィルスで皆様方の生活はおろか、国内や世界までが異常事態に陥っていることに驚きと怒りを感じております。不自由な生活を余儀なくされていらっしゃいます皆様方に、楽しいイベントの内容をお伝えすることに憚りを感じます。ご容赦ください。

さて2月8日、暖冬とは言え冬の徳佐は5℃の雲の多い天候でした。恒例の『冬の徳佐を楽しむ会』を開催いたしました。山口本部の楽農部会の収穫祭も兼ねております。この楽農部会の収穫祭は元幹事長の山縣正彦氏の発案で、法人会員アグリアートジャパンの協力で開催してまいりました。今回で9回目となります。本年は山縣氏とアグリアートの代表理事の山見智盟氏のお姿はありません。山縣氏は昨年末、山見氏は本年の年明けに他界されました。今までのご支援に感謝いたしますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

今年の内容は講演・卓話と音楽、阿東の名物イノシシ料理と法人会員の村重酒造(株)の美味しいお酒で楽しむというものです。参加者は山口市内から貸し切りバスで参加の方を合わせて43名、阿東徳佐地区の方18名で61人のにぎやかな会となりました。

10時からの講演は徳佐八幡宮の渡辺宮司の『徳佐八幡宮と徳佐の歴史』についてのお話をいただきました。徳佐八幡宮は大内時代(大内弘盛)に勧進されたと言うことです。山口県は周防と長門の地域分けがされておりますが、当時は長門の中に『奥阿武』と言う地域分けもあったとのこと。現在の萩市大井から須佐、田川、吉部、徳佐、地福などの地域だそうです。意外と知らない文化圏のお話に興味を持たれた方も多かったようです。

続いて日赤の高石先生の熊本地震を基に、災害時の対応についてのお話です。先生は当時熊本大学病院に勤務されており、『自助・共助・公助』の大切さをお話いただきました。先生の体験を交えたお話に災害の少ない徳佐地区の方も納得されておりました。



おられるお話を伺い、ご活動に感謝申し上げます。

懇親会に先立ち、今年も村重酒造(株)のご協力で鏡開きを行いました。鏡割りの槌をふるっていただいたのは、申神副本部長と入江元副本部長、それに講師を務めていただいた高石清美先生。女性三勇士のお力で、見事な鏡開きが出来ました。

卓話では、公益社団法人山口被害者センター『ハートラインやまぐち』の田中講師から活動の取り組みを具体的にお話いただきました。社会悪に対して懸命に立ち向かって

お昼の給食はお馴染みのイノシシ料理。今年もシャブシャブと、煮込み。美味しいお酒とビール・焼酎。ワインを持ち込んだ方もいらっしゃいました。

音楽演奏はブーフォーウーの皆さん。坂本音楽部長のご紹介です。徳佐のハーモニカ名人山本進さんの演奏等々。ピアノの酒気帯び演奏もあり、楽しい交流が出来たと思います。



会も盛り上がったころ、お楽しみの景品抽選会。今年は村重酒造(株)の金冠黒松純米大吟醸酒をはじめ、焼酎。NPO あとう(阿東観光協会)から自家製の甘酒。アグリアートジャパンから田楽米。農事組合法人片山からはゲンさんの特別栽培米。自然豊かな徳佐の蜂蜜。合計で30個も景品協力いただきました。有難うございました。確率は約50%でした。

最後に参加者全員で山口市民の歌『ふるさとの風』を合唱し、閉会いたしました。この山口市民の歌『ふるさとの風』は市内の防災無線と防災放送では定時に流れているようですが、阿東地区では朝6時にはエーデルワイス、12時にはふるさと、17時にはドボルザークの新世界からの家路が流れております。徳佐の参加者には、『ふるさとの風』を知らない方がおられましたが、中野邦夫さんのご指導で清々しく歌い上げました。次回は『ちひろ』さんをお招きして明るく歌い上げたいと思います。会の雰囲気は嘉瀬修さん提供の写真でご覧ください。



山口県も中国発の悪性ウィルス対策で自粛措置の真最中です。首都圏の会員の皆様はもっと大変だと思います。くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

また、来年も『冬の徳佐を楽しむ会』を盛大に元気に開催したいと思います。

令和二年度 山口七夕会 ふるさと山口本部 第4回 酎祭中止にあたって

ふるさと山口本部 日本酒部会長 嘉瀬 修(会員No.608)

1. はじめに

3月7日(土)午後6時30分より、防長苑2階ホールにて山口七夕会ふるさと山口本部主催の第4回 酎祭を、総勢80名様の参加で(確定)開催予定を計画していました。

しかし、2月25日に厚労省より、コロナウイルス対策に関する基本方針が公表され、集団感染を未然に防ぐ目的から、今年で第4回を迎える予定であった酎祭を断腸の思いで中止するという判断に至りました。

2. 幻の企画

第4回酎祭に向け昨年山口ふるさと本部の関係各位と様々の検討を重ねておりました。コロナウイルス惨禍が過ぎ去り次第、盛大に第4回酎祭を企画、開催したいと思っております。その日のための備忘録として、どのような企画を立てていたのか、ここにご報告しておきたいと思います。

(1) 講演

「とくじ女杜氏の細腕繁盛記」と題して、山口市徳地の新谷酒造 新谷文子様からのご講演を予定しておりました。この新谷酒造は昭和2年に先々代の新谷熊吉様が酒蔵を創業されたのが始まりです。平成14年には全国新酒鑑評会金賞を受賞され、平成30年には欧州ブリュッセル国際コンクールSAKE selection 純米酒の部でプラチナ賞を受賞されるなど輝かしい実績を積み重ねておられます。ご講演では、素晴らしい実績に至るまでの苦難の他にも、いろいろなエピソードを拝聴させて頂きたいと期待していたところでした。

(2) 日本酒の出品

講演会と並行して、新谷酒造様からは「メタルブブン」、「わかむすめ(燕子花・萌木・新姫)」の出展と試飲を予定しておりました。

その他、例年のごとく村重酒造、金光酒造、山城屋酒造他、酒蔵各位からの日本酒も味わっていただきたく関係者各位で準備を進めておりました。特に今回は、各酒蔵に直接出向き蔵人様とご相談の上、蔵でしか購入できない貴重な品々もそろえ、会員他皆様のご参加をお待ちする矢先でした。

3. 日本酒のタイプ

酎祭自体は中止となりましたが、この機会をとらえて日本酒をより味わい深く知り、その楽しみが増すことを願って、味わいを視点とした日本酒の種類について少し解説をしてみたいと思います。

お米を原料とする日本酒、同じ酒質でもその味や香りは蔵元によって違ってきます。この違いに着目すると

日本酒はおおきく4つのタイプに分類できます。今日の日本酒の銘柄は何千種類もありますが、どんな日本酒でも次の4つの内のどれかに当てはまるのです。

(1) 華やかな香りが特徴・・・薫酒(くんしゅ)

甘い果実や花のようなフルーティな香りが特徴です。「大吟醸」などの吟醸系が該当し今、流行しているのがこのタイプです。

(2) すっきり爽やか・・・爽酒(そうしゅ)

日本酒としては最も軽快な香味で、すっきりとした飲みやすさが特徴です。普通酒や本醸造が該当し、淡麗辛口なタイプです。

(3) ふくよかな旨味とコク・・・醇酒(じゅんしゅ)

お米の旨味やコクを感じるタイプで、純米系の日本酒が当てはまります。どっしりとしていて、味付けの濃いお料理にも負けません。

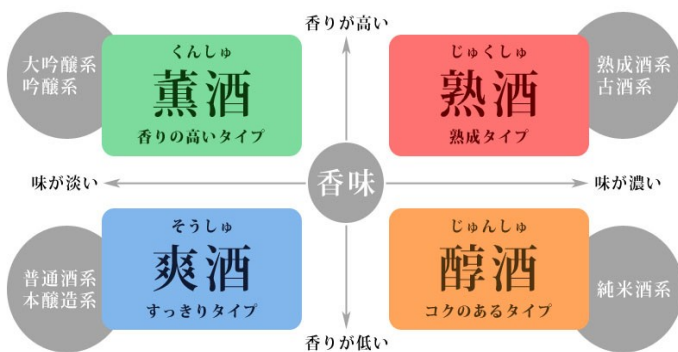
(4) 熟成された個性派・・・熟酒(じゅくしゅ)

古酒や熟成酒などが当てはまります。ドライフルーツやスパイスに例えられる香りと、とろりとした飲み口です。

4. まとめ

第4回酎祭の企画案を備忘録のつもりで寄稿し、あわせて日本酒のタイプについても解説いたしました。日本酒を味わう際にでも思い起こしてくだされば幸いです。また、本年3月に予定していた第4回酎祭は、やむなく中止といたしました。すぐにでも開催できるよう役員各位と準備を怠らないようにしております。具体的な開催日時が確定次第、フェイスブックやライン、メッセージなどのSNS並びに会員皆様宛のメール等でお知らせしたいと存じます。役員一同その日を待ち遠しくしております。会員皆様のご健康と日本酒の楽しみが今後益々増し加わりますこと祈念しております。

【日本酒の4つタイプ】



英国大使館別荘記念公園(日光)の紹介

副会長 奥原保(会員No.330)

栃木県の最南端にある野木町に住み付いて 30 年余り、郷土の方たちからよく言われるのは、「山口出身者が何故栃木県に住まわれたのですか?」。答えは簡単で、大学卒業後新入社員で古河電工日光工場に配属、以来東京本社と行ったり来たりしているうちにその中間に家を構えた次第。栃木県といっても都心まで、在来線でも 1 時間少々で行くことができ、東京の郊外に住まわれる方より時間的には近いかもしれない。



その栃木の歴史をみると意外と山口との関わりが多く、今回日光中禅寺湖畔にある「英国大使館別荘記念公園」を紹介する。明治中期から昭和初期にかけて、この地に各国の大使館をはじめ多くの外国人別荘が建てられ、国際避暑地としてにぎわった。園内の建物は、英国の大使館で明治維新に大きな影響を与えたアーネスト・サトウの個人別荘として明治 29 年(1896 年)に建てられ、その後、英国大使館別荘として長年使われてきた姿に復元したものである。

アーネスト・サトウは 1862 年 9 月 8 日(文久 2 年 8 月 15 日)、イギリスの駐日公使館の通訳生として、憧れの日本に渡り横浜に住んだ。そして 1864 年 7 月、長州藩の伊藤博文と井上馨(聞多)が、急きょヨーロッパ留学から横浜に戻った際には、彼らを長州まで送り届け、この時からアーネスト・サトウと伊藤博文の文通が始まった。1865 年 4 月には通訳官に昇進し、伊藤博文や井上馨との文通も頻繁となり、お互いに情報交換をした。そして、日本語に堪能なイギリス人として、アーネスト・サトウの名が知られるようになった。

ちなみに「サトウ」という姓は、親が日本人であったということではなく、たまたま父の姓名を「サトウ」と発音したもので、日本の佐藤姓とは関係なかった。親日家のサトウは漢字を当てて「薩道」または「佐藤」と日本式に姓を名乗ったと言われている。このように、日本人も親しみを得やすい呼び名であったことが、日本人との交流に大きなメリットになったといえる。

英国大使館別荘へのアクセス: 第 2 いろは坂を上り切り、右手に明智平ロープウェイを眺めた後、暗いトンネルを通り抜け T 字路にぶつかる。華厳滝の脇を通り過ぎ大鳥居をくぐって左折し、数分で県営歌が浜駐車場(無料)に到着する。そこから中禅寺湖畔徒歩 10 分のところに別荘が静かに佇んでいる。IF のみどころは、アーネスト・サトウが愛した奥日光の紹介。展示テーマ①明治維新に大きな影響を与え、明治 29 年(1896 年)にこの別荘を建てた彼の生涯を紹介②国際避暑地の歴史や奥日光の豊かな自然、サトウの次男で植物学者の武田久吉博士、サトウがこの場所を別荘として選んだ理由や建物などを紹介。

2F のみどころは、広縁からの風景、サトウが活躍した時代の英国文化の紹介と体験。展示テーマ: サトウが活躍した時代、英国はヴィクトリア朝時代であり、文化・芸術が花開いた黄金期。手仕事の復興と産業デザインの改良を目指す「アーネスト・アンド・クラフツ運動」などを紹介。

以上、山口と栃木で何らかの縁のある建造物として英国大使館別荘を紹介したが、そのほかにも矢板市に山縣有朋記念館がある。故山縣正彦氏は山口七夕会の大人の社会見学として同館を希望しておられた。個人の遺志を継いで、矢板市の同記念館を見学し、余裕があれば鬼怒川温泉に一泊・日光の英国大使館にも足を運ぶルートを企画してみたい。その際は、演歌・カラオケ好きな方たちには日光・今市の船村徹記念館に立ち寄るルートがあり、会員の皆さん方に広く楽しんでいただけたらと思う。山縣氏にも、あの世で喜んでいただけたのでは。

コロナと自由とルール、知性・節度と寛恕の精神

副会長 兼 会長代行 渡邊史信（会員No. 364）

今年は令和2年、思えば明るい年初でした。あっという間に新型コロナウイルスのパンデミックに日本も巻き込まれてしまいました。お花見盛りの3月29日にはコロナ騒動の真只中、関東地方は季節外れの曇交じりの雪模様。志村けんさんが亡くなってびっくりした日です。



駄句一句

「雪までふるかコロナ自粛の花の日に」

4月7日には緊急事態宣言発令。「ステイホーム週間」は如何お過ごしでしたか？ 漸く東京含め日本中の緊急事態宣言は5月25日に解除されました。世界中が強制・自律の差はあれ行動の自由を奪われ、街の景色と生活・行動様式が変わりました。そして混沌の春も早過ぎ去り、蒸し暑い6月。本来であればもうすぐ始まるオリンピック・パラリンピックに向けて日本中が期待と夢に沸いていただろうに・・・しかし世界中が新型コロナウイルス撲滅に立ち上がり、市民レベルでの連帯が深まったのは国体の違いや宗教的背景を超えて、一縷の望みを抱かせました。これがパンドラの箱の最後に出てきた「希望」の事かと信じたいと思います。

フランスの17世紀後半から18世紀前半の思想家ヴォルテールの言葉に「私はあなたの意見には反対だ、だがあなたがそれを主張する権利は命をかけて守る」というのがあります。「民主主義」・「自由主義」、特に「表現の自由」と「言論の自由」の原則を明快に示した言葉として有名です。勿論「主張する自由」があれば、それを「聞かない自由」もあるでしょう。一方「自由」をはき違えると「ルールを勝手に作る自由」と「ルールを勝手に破る自由」が乱立することが多々あります。「ルール」は当然世の中の進歩や価値観の変化に応じて変わっていきますが、特に我々一般社会での生活における軋轢は殆どがこの自由とルールのはき違えからくるのではないのでしょうか？

今個人レベルから集団レベル、社会レベルから国家レベルへ、国家レベルから地球レベルへと様々な問題が溢れかえっています。「自由」の裏には必ず「ルール」と「気配り」「ルールに基づく個の制限」があることをあらためて認識させられた日々でした。

この混沌とした社会、特に日本を含めた大国の迷走？を感じている今日、その中にわが身を置き、わが目で見て感じて律し、行動に移さねばなりません。日本人の「知性・節度・寛恕の精神」を様々な立ち位置で発揮し、世界に貢献したいものです。最後に、コロナ対策の自律は継続しましょう。

「山口七夕会新会員・法人会員の皆さん」 ※敬称略

会員数：389 人、 法人会員 18 社（令和 2 年 4 月 30 日現在）

＜新会員＞（敬称略）

受付No.	氏名	入会月
774	多田 望	R2.1
775	酒向 淳子	R2.1
776	南山 恭兵	R2.1
777	原田 尚美	R2.2
778	入交 知則	R2.2
779	仲 典子	R2.2
780	藤井 尊弘	R2.3

＜法人会員＞

法人名	代表者名
村重酒造株式会社	村重 雅崇
山口日産自動車株式会社	末富 健作
旭水産有限会社	八木 政治
株式会社 常盤旅館	宮川 和也
株式会社 地域情報新聞	垣内 太
株式会社 技工団	作間 悦次
企業組合 アグリアートジャパン	関 和貴
金光酒造株式会社	金光 明雄
有限会社劇団角笛	白石 武士
オンガネジャパン株式会社	岡本 昭宏
一般社団法人平成の萩往還・中山間地振興をめざす会	中野 勉
山城屋酒造株式会社	宮崎 展一
マルシフードサービス株式会社	村光 伸介
社会福祉法人 青藍会	阿武 義人
株式会社セブンシステム	細坂 孝彦
株式会社光華	三原 美津子
株式会社ベルミューズ	長尾 修志
一般社団法人日本自動車連盟 山口支部（JAF山口支部）	河野 信彦

※令和2年1月以降の入会者

山口方言で一言（山口方言発掘）・・・本誌の 7 頁をご参照ください。

①「遍照金剛ゆーちゃーいけん！」

子供の頃、こうおじいちゃんやおじさん達に叱られた人はもういないでしょうか？
「屁理屈言うな！」「小生意気言うな！」という意味です。「遍照金剛」はかの弘法大師・お大師さまこと空海さんの灌頂名です。ちなみに「遍照」は「大日如来」の別名です。
こまっしゃくれた悪たれ小僧はいつもこうやって叱られていました。（副会長 渡邊史信）

②「しろしいけえ、そねえにつばえんさんな！」

田畑に囲まれ、祖父母と同居して育った私。特に祖母にはこう叱られたものです。「やかましいから、そんなに大騒ぎするな」といったところでしょうか。今となっては叱られたことも、懐かしい思い出です。（副会長 相山俊哉）

【山口市役所だより】

中原中也記念館オンラインショップとグッズセット「おうちで湯田気分」

詩人・中原中也の生家跡に建ち、中也の30年の生涯や作品を貴重な資料を通じて紹介する中原中也記念館では、オリジナルグッズを購入いただけるオンラインショップを開設しています。このたび記念館・観光回遊拠点施設「狐の足あと」・湯田温泉のグッズをセットにした「おうちで湯田気分」を販売開始しました。「ふるさと山口・湯田温泉」の応援をよろしくお願いします！

↓ 中原中也記念館オンラインショップはこちらから →

<http://www.chuyakan.jp/online-shop/>



グッズセット「おうちで湯田気分」 税・送料込 3,700 円
「中原中也記念館」オリジナルタオルハンカチ／オリジナル詩集『中也の詩(うた)』／えんぴつ／中也の肖像ポストカード／45mmバッジ／クラフト紙ブックカバー
(NEWノベルティ)

「観光回遊拠点施設 狐の足あと」クリアファイル 3 種
「湯田温泉旅館協同組合」湯田温泉無添加化粧水・ゆだうるる／ゆうた・ゆうこシール

記念館オリジナルグッズの一例

「キャンバストートバッグ」 税込 1,500 円

記念館オリジナルキャラクター「中也くん」が読書しているかわいいデザインです。色はナチュラル・ネイビーの2色からお選びいただけます。



イベント予告[ふるさと山口本部]

＜第2回「ぶち酤祭」＞

日時：令和2年10月1日(予定)

場所：セントコア山口(予定)

イベント予告[本部(東京)]

＜秋の交流会＞

日時：令和2年10月～12月開催で計画中

場所：未定

講演講師：未定

【編集後記】

新型コロナウイルスの影響で、私たちの働き方、ライフスタイルが一変しようとしています。私も長らく山口市の実家に戻れていないのですが、その代わりに、山口市のお店が新たに始めたテイクアウトを利用しました。支払いはインターネットを利用して神奈川で済ませ、山口市の実家に本場のイタリアンや同級生のお店の味を届けてもらいました。

言い古された言葉ではありますが、ピンチはチャンスです。新たな日常、新しい生活様式。このコロナ禍を新たなスタートラインにできるかどうか、今私たちは試されています。七夕会も、七夕会の機関誌も然り。この七夕会通信についても、今回から新しい企画を始めました。これからは時代や会員のニーズをとらえ、新たな情報発信に挑戦していきます。

編集長(山口七夕会副会長兼本部長) 梶山俊哉

インターネットをご活用ください！

①七夕会ホームページ (<http://www.yamaguchi-tanabatakai.org/>)

検索サイトで「山口七夕会」と検索してください。

②七夕会フェイスブック

会員の皆さん限定となっています。閲覧を希望される方は、七夕会役員までご一報ください。

③山口市ファンクラブ(フェイスブック)

公開ページです。「山口市ファンクラブ」で検索してみてください。

★編集者＝本部長の梶山の電子メールアドレス：tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp

山口ゆかりの情報をお届けします。このアドレスまで「メルマガ希望」とメールをお送りください。

【事務局からのご案内】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(七夕会通信や市報等の資料が届かなくなってしまう！)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続きに必要となります)

〒753-8650 山口市亀山町2番1
山口七夕会事務局(山口市企画経営課内)
TEL 083-934-2746/FAX 083-934-2642

本部(梶山本部長)

tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp